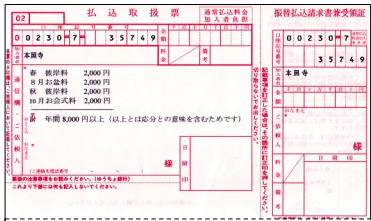


日蓮宗 常栄山 本照寺だより

付け届けのお忘れ無きように

191軒のお檀家が！

▼私は約500軒のお檀家に「クロネコメール」でお届けしています。そして年1回、本照寺だよりを1月号と一緒に「年間8千円の付け届け用・払い込み用紙・写真」を同封するのですが、墓地があり本照寺だよりが届いていても、残念ながら191軒（内不明19）の方から入金がありません（23年度）。世話人さんがいられる地域・約350軒は、一軒一軒世話人さんが集金しているわけですので、不公平のないように心がけたいものです。



毎年同封している「払い込み用紙」。計・年間8,000円以上（以上とは応分の意味を含みます）とありますが、それは、直接お見えになる方は年に3～5回、その都度3千円から1万円を包まれますし、また口座徴収料金（本照寺支払い）や年間の発送費や印刷代等がかかるため、便宜上そうしています。

■宗務所管内や厚木市仏教会等で様々な話を聞いています。本照寺はかなりお金が掛からないようです（昔から有

常識あるご判断を

■毎年8月16日、本照寺では「お施餓鬼供養会」としてご先祖供養のため大法要を執り行っております。午後2時から3時30分頃まで、卒塔婆を建てて住職が施主のお名前と法号をお一人ずつ読み上げ、6人の僧侶と共にご供養申し上げます。年一度の供養会ですので申し込まれる方はご供養をいたしましょう。

お盆

■特に新盆を迎えられる方は出席のもとご供養いたしたいものです。卒塔婆申込みご希望の方は次を参考にしてください。

▼世話人さんのいる地域の方は、例年通り世話人さんを通して申し込みください。

▼そうでない地域の方は同封の「払込取扱票」の通信欄に〇〇家先祖代々、または〇〇〇〇信士・信女などご供養を希望される家名、法号をお書きください。

▼「金額」に申込金額を書き入れ、郵便局へお持ちください。

▼「一霊位ご供養・卒塔婆一本」に対し、4千円となっております（お施餓鬼の卒塔婆にはお布施も含まれます）。どうぞ7月中旬に申込みを…

▼本年も新盆を迎えられる家、限定となりますが、お棚経（たなぎょう）に伺います（例年お棚経を回っていた地域に限りませんが、その他の地域でご希望の方はご連絡ください）。

第41号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所 しょうゆう
本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438

名のように住職の私も結構なことを思っています、ホントホント）。お寺によつては年間2～4万円であつてみたり、ほとんどのお寺で「付け届け」意外にも「護持会費」（この会計は世話人さんが担当するようです）などとして集金しています。本照寺には「護持会費」はありませんし、「付け届け」だけです。またその金額も10年前まで年間4千円でした。

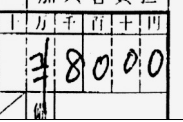
長澤忠幸さんが東屋を奉納される

■6月中旬、本照寺本堂前に、立派な東屋が完成します。これは厚木市飯山・長澤忠幸さんが建立奉納されたもので、本照寺にはこれで2つ目の東屋ができたこと



きたこと

そんな中にあつても数十年前のかた…などのお檀家も…。一方、世話人さん扱いの方や、また払い込みをされても更に彼岸やお盆、年賀の都度3千～1万円の付け届けをお持ちくださるお檀家も、かなりいらつしやるのです。■さて、今年の2月7日、厚木緑ヶ丘郵便局から振り込まれました「払込取扱票」に、「おところ・おなまえ蘭」が白紙なものが一枚ありました。←金額欄を拡大しましたので、ご参照の上ご連絡をくださるようお願いいたします。¥の表記に特徴があります。



東日本大震災支援活動

■去る3月25日（金）、厚木市仏教会（都高真道会長）では駅前にて義捐金募集を行いました。55万円の援助を「日本赤十字」を通じて行うことができたこと

本照寺でも受け付けています

きました。当日は10時～1時、また3時～6時の2回、計6時間にわたり延べ40人の寺院家族が応援にかけつけてくださり、

銀杏（いちじょう）
■幸四郎く久武く忠幸…これはこの度、東屋を奉納された長澤家（因記事参照）の家系ですが、この銀杏は久武さん10歳の頃、お会式稚児行列にて祭文を奉読した記念に父、幸四郎さんが奉納されたもの。久武さんは90歳で亡くなり、今、ご健在なら122歳。仮に10年の苗木として推定樹齢は132年となります（忠幸さんは現在91歳）。■中国原産。メスとオスがあり、実はメス株になる。4月～5月に新芽が伸びた後に雌花雄花と



こちらがメスです



も開花し、実が結実するためには雄花の花粉による受粉が必要。花粉は1センチ程度離れた雄株からでも飛散してくるという。長寿であり、成長すると巨木になる。現在日本一は青森県深浦町にある「北金ヶ沢の銀杏」で幹周りは22メートル、樹齢千年以上。（写真①人間参照）

■第13回・本照寺「一泊お山しゅぎょう」は7月27日（水）28日（木）の開催となります。参加ご希望の方は、本照寺ホームページ上に「一泊お山しゅぎょう」コーナーがありますので、そちらの「参加要項」を印刷され、FAXなどにて送ってください。また本照寺本堂にも「参加要項」の用意がありますので、お申し込みください。待っています！

一泊お山しゅぎょう



本照寺 檀家様
『ご埋葬』は
イシックスに
お任せ下さい
埋葬料 10,000円（税込）
清掃・葬石メジ・香炉皿交換 含みます
（古い場合）
☎0120-011140
□平塚店
〒254-0014 平塚市四之宮2-24-31
TEL 0463-53-1114 FAX 0463-54-0222
□小田原店
〒250-0011 小田原市栄町2-5-22 木戸ビル1F
TEL 0465-20-1114 FAX 0465-20-1135



本厚木駅前にて延べ40人のお寺関係の方々が参加。白山の村井さんが義捐金5千円を（写真②）m()m。ちなみに私は副会長を務めています。



本照寺でも夫婦2人で義援を呼びかけました。

私たちのお寺は

宗 派・日蓮宗
ご本尊・大曼陀羅
【だいまんだら】
ご本仏・久遠実成
本師釈迦牟尼仏
【くおんじつじょうほんししやかむにぶつ】
総本山・身延山 久遠寺
【みのぶさんくおんじ】
宗 祖・日蓮大聖人
経 典・法華経
主に唱えるもの・開
経偈～方便品～自我
偈～お題目～宝塔偈

「本照寺」のホームページは厚木本照寺や日蓮宗本照寺で検索してください。
この「本照寺だより」が届かない家はお檀家登録がされていません。
墓地があっても「本照寺だより」が届かない方はお知らせください。

それぞれの神様が仲のいい国
それが日本の宗教の大きな魅力

■三輪明宏を知らない人はいないことでしょう。テレビ出演、本の出版なども多数ですが、以外なのはとても信仰心の篤い方でして、法華経のすばらしさを伝える本も出されています。また、東京・池上本門寺（日蓮宗大本山）にて「人生相談」を特別に担当されるなど、公私にわたり活躍中です。今回は月刊誌、「一個人」KKベストセラーズに掲載された記事から、一部ですが紹介いたします。

■外国の宗教と日本の宗教



と、もともと違う点は、日本ではたくさんの神さまが仲良く共存しているということですね。こんな国ありませんよ、世界中に。
日本は昔から八百万（やおよろず）の神と言って、インドの神さまだろうが、中国から渡ってきた神さまだろうが、どこから来ても融通無碍（ゆうつうむがい）でも受け入れてしまう。
そしてそれぞれの神さまが、みんな仲がいいのです。そこが私は日本のすばらしさだと思います。この、せつかくの美德が失われてしまったのが終戦後ですよ。つまり「イエス」と「ノー」をハッキリしなければいけないというヤン

キー文化（一神教）が入ってきてから。

■この世の出来事には、いいことも悪いことも、長所も短所もどちらもあるのです。それなのに「イエスかノーかどちらかに決めろ」というの

菩薩の化身として法華経を实践する

■法華経の「南無妙法蓮華経」とは、「妙なる法の蓮華経」ということです。もう少し分かりやすく言えば、「妙なる法」とは宇宙の法則のことで、日蓮聖人は「南無妙法蓮華経」という言葉で、宇宙にいらつしやる神々のすべてをひと言で呼び表そうとお考えになったわけですね。

は、とても乱暴で、不合理なこと。世の中にはイエスとノーの間に「まあまあ」という考え方や出来事があつて、それが日本の宗教に表れていたのが「八百万の神」という言葉に代表される、いろいろな神さまがみんなで仲良く共存する世界だったのです。

こうした八百万の神々が存在する日本において、法華経の「南無妙法蓮華経」というお題目は、「八百万の神々のすべてに帰依します」という、最強のパワーを持つ言葉として生まれました。

つまり、「南無阿弥陀仏」というのは、阿弥陀仏お一人をお呼びする言葉ですが、「南無妙法蓮華経」というのは、自分たちが住んでいる土地の神さま、天照大神という日本の神さま、更には一人ひとりの背後霊や指導霊、守護霊、守護神など、宇宙にいらつしやる全神々をひと言でお呼びする言葉なのです。

■更に、「南無妙法蓮華経」



編集後記

■写真を見ていただきたい。3月11日、地震の影響で電車が運休し整然と並んで腰掛け、再開を待つ日本人たち。この姿に中国が驚嘆！「これは日本教育の賜である。GDPで得られるものではない」「50年経っても追いつけない」などと中国語のコメントが。人が通れるように真ん中を空けて座っているのですが、これが「すごい」ことのように。中国ではお構いなしに座るようですね。■本紙記事、美輪明宏は若き頃、山梨県七面山・奥の院へ毎月、信仰登山をしていたほど熱心な日蓮宗の信者さんです。

には人間の仏性を拡大するパワーもあります。どんな人であっても、人間には仏性（仏界）もあれば魔性（地獄界）の面も備えています。たとえば、電車の中でお年寄りがつらそうに立っています。その時に「ああ、気の毒だなあ」と思って席を譲ったとしたら、それはあなたの仏性が現れたのです。けれども、ある時には「今日は疲れているから」とぼけてこのまま座っているというと思う日もあるでしょう。これがあなたの魔性です。

■このように、同じ人間の中にも、優しい仏性の心もあれば、意地悪をするような魔性の心もあるし、その割合は常に一定だということもあります。この仏性の部分をどんな時

■私は毎日、法華経のお経をあげています。お題目をあげたりしていると、不思議な力がどんどん泉のようにグーッと湧いてくるのを感じます。お経をあげることによって、宇宙からのエネルギーを吸収するのです。（中略）



「コンサートもお芝居も、そして、講演活動も本を出版することも、すべて私のお役目だと思っています」

■お経には現代を生き抜くための智慧が書かれてあり、「南無妙法蓮華経」にはものすごいパワーが秘められています。信仰には心の中の発想の転換を促し、お経やお題目には脳や身体を活性化させる絶大なパワーがあるのだということを、ぜひ知っていただきたいのです。